

# 東部日本語ボランティアネットワーク 第34回定例会議事録

2024年7月6日(土) 三島本町タワー14:00~16:00

出席者(7名):香川、石井、虎谷、久木野、古橋、高澤、相田

事前資料提出者:(4名):西村、佐野由美子、望月、山口

○情報共有

香川(函南 あいうえおの会)

6月の日本語教室開催状況と結果;

6月9日;参加者18名

学習者;ベトナム人4名、中国人2名、インドネシア人3名、フィリピン人2名

学習支援ボランティア;7名 函南町都市交流協会から一名が初参加。

\*教室としてこれまで使っていた会議室が満席になり、急遽隣の部屋を追加して借りる。

\*中国人2名、インドネシア人3名をひとりの支援者が対応した。

6月23日;参加者15名

学習者;ベトナム人3名、中国人1名、インドネシア人3名、フィリピン人1名

学習支援ボランティア;7名、

\*2部屋の教室で開催。インドネシア人3名をひとりの支援者が対応した。

\*親に同伴して参加しているベトナム人の子供3名をひとりの支援者が世話をした。

コメント;

\*三島市国際交流室主催の「日本語学習支援者初級講座」全10講座講師はGGA 沼津校校長の西村久美子氏、三島市を中心に20名ほどが参加している。あいうえおの会からは4名が参加している。

\*6月30日三島市国際交流室主催の「バスの乗り方」教室にあいうえおの会の学習者3名が参加し座禅も体験した。

現状の課題;

学習支援ボランティアが少なく十分な学習支援ができない。

三島、函南、伊豆の国市の関連団体や個人の繋がりを通じてボランティアを募る。また「日本語学習支援者初級講座」に参加者にあいうえおの会の学習支援ボランティアの参加を呼び掛けたい。

久木野(伊豆の国市国際交流協会 日本語話そう会)

毎週火曜日、夜、伊豆の国市にある葦山時代劇場で定期的に日本語の会を実施している。

以前は技能研修生など多くの方が来ていたが、最近は、技能研修生の参加はほとんどない。

今は、近隣の、一部の技能研修生、ALT、結婚して来日している外国人などが参加している。

ただ、彼らも、仕事や天候などによって、毎回の参加者は少ない。

今、当会では、日本語を教えるボランティアが少ないために、いろいろと手をつくしているが、なかなか集まらないので、ちょっと苦労しているところである。

## 石井（のびっこクラブみしま）

のびっこクラブの近況：

- ・来室は毎週 8 人前後。オンラインも継続中。

福祉分野（社協）、子ども分野（子ども未来課）との連携が増えている。

支援者が足りない日が多い。

- ・子どもたちの様子

中学 3 年生不登校

家の仕事を夜遅くまで手伝っている中学生

親の仕事で国を短いスパンで移動している子

進学した公立全日制高校で、成績優秀な子

来日直後は表情が硬かったが、学年が変わり積極的になった子、など

- ・課題は、団体の継続について

土曜日に活動できるボランティア不足や役員のなり手不足などで、表面化した。

⇒「この団体が目指すものは何か」について話し合いを持った。⇒6/8 9:00~9:50

○三島市役所主催の外国人市民向けイベントが多数開催されている。

「医療関係者のためのやさしい日本語講座」(6/1)

「日本語ボランティア初級講座」(6/9~10 回)

「バスの乗り方講座」(6/30)

## 虎谷（NICE、親子にほんごひろば、県教育委員会）

- ・親子にほんごひろば

今年度はボランティア 5 人体制で対応している。

学習者は増えていて 10 人ぐらい来るときもあるが、大人が多い。

近くの小学校、中学校に声をかけて、子どもたちも来てくれると良い。

- ・県義務教育課

今年度も県東部は派遣要請が多く、コーディネーター 2 人で約 80 校の小中学校を訪問している。

最近、ネパールからの来日が増えている。保護者の仕事は飲食店関係だけでなく、ホテルでの仕事も増えつつあるようだ。ホテルのグループ内での転勤もあって、子どもたちはまた新たな土地に慣れる必要がある。訪問している学校には編入先への引継ぎをしっかりとさせていただきようお願いしている。

静岡県だけでなく日本全体でネパール出身者の人口が増えているようだ。

## 高澤（ふじたぶネット(ふじのくに多文化共生ネット)など)

1.

静岡県の対話交流型日本語教材を使用した日本語サロンの開催。

静岡県多文化共生課の令和5年度日本語指導者養成講座(静岡県対話交流型初期日本語教材『はじめまして！日本語』を使った日本語教室の指導者と、とよた日本語能力判定のテスター養成)を受講した仲間と、今年度後半に試験的に数回実施予定。

2.

地域の他団体との連携事業。

①アスルクラロとの連携。

(会合の時点では確定ではありませんでしたが)10月26日(土)に、親子国際交流体験イベントを開催する予定。

②プチウオーク NUMAZU 再発見を復活させたい。NUMAZU 以外の場所も候補に。

3.

沼津市多文化共生ボランティアの日本語支援として門池中学に支援に入りはじめた。

が、ボランティアの立場が曖昧で、学校の対応窓口もはっきりしておらず、支援に入る際の条件等も知らされないまま支援が始まってしまった。

週一回1時間の支援では焼け石に水。そもそもボランティアに依存することではないと思う。

## 相田（NICE 沼津にほんご教室）

学習者の数は少し増えて20人前後。新人ボランティアが2、3人入ってきた。スタッフ人数がかなり減った。

・運営に関わる役割分担に関して

日本語教室を運営する部会には三つのチームがあったが、二つに絞った。新人ボランティア研修チーム、運営チームがそのまま、勉強会チームを廃止した。理由としては実質的に活動できていなかったこと、人数が減ったことなど。2チームになったので、チームの役割は増えた。資料の改訂や、備品の不備の改善などを開始した。

・体制について意見からの気付き

特定の企業からある程度まとまった人数の学習者を受け入れている現状がある。企業に法人登録をしてもらうなど、winwinのストーリーを考えられないか？検討してみる価値はある。企業の背景などを理解した上で、それに合わせたことを教えるなど（ボランティアの範囲内で）

西村 (GGA など) (事前メール)

みなさまにお会いしたかったのですが、  
明日、なんとピアノの発表会！  
今日はリハーサルのため参加できず残念です。  
以下、簡単ですが近況をお知らせします。

・仕事：

相変わらず日本語学校にフルタイム勤務

日本語教育機関の管轄が法務省から文科省に変わり、  
認定制度、登録日本語教員（国家資格）への5年以内移行の1年目。  
考えるだけでエネルギーを消耗してしまいます。

留学生はミャンマー、ネパール、バングラデシュ、スリランカ、パキスタン、ベトナムといった国々からの問い合わせが多いです。

留学生以外のお問い合わせ（企業、プライベート）が徐々に増えています。

・地域日本語活動：

○今年度は静岡県地域日本語教育コーディネーター（主に東部担当）となりました。

静岡県地域日本語教育推進方針は5ヵ年の最終年度。

私は市町の教室調査、ネットワーク会議、研修などに関わります。

微力ですが、お役に立てるように努めたいと思います。

先日は、裾野市で佐野由美子さんにお目にかかりました。ありがとうございました。

○三島市 日本語学習支援者養成講座

あいうえおの会の方、三島日本語サークルの方、のびっこクラブの方など、

すでに活動をされているみなさんや、

ふじのくに中学校の先生、日本語教師の方、福祉に携わっている方・・・などなど、

さまざまな方々が受講してくださっています。

10回の講座の中で、対話交流型教室の体験版を3回実施。

順天堂大学の、やさしい日本語部の方々にもご協力いただく予定です。

○長泉町、文化庁スタートアッププログラム3年目

「ちいきでつながる はじめての日本語教室」

9月26日から教室が始まります。今年は日曜日開催です。

諸事情あって、こちらでもコーディネーターをすることになりました。

昨年度の反省を生かした教室を考えていきます。

★終わりに★

外国人がどんどん日本に入ってきているけれど、

受け入れ態勢が追いついていないことが多々あって、

自分には何ができるのだろう、どうしたらいいのかと、自問自答する日々です。

望月 (FAIR) (事前メール)

FAIR 日本語支援委員会としては

① 市内小中学校 6 校に在籍している外国人児童生徒 (12 名) への日本語支援

8 名の委員が 1, 2 名の生徒を担当、週一か二回、授業に付き添い、あるいは取り出し、または放課後 1 時間授業についていける程度になるまで日本語をしている (教科書中心)

② 市内あるいは富士市在住の外国人 (高校生以上) に毎日曜日 (10 から 11 時半の 1 時間半) 日本語の基礎を学ぶにほんごクラスを開講している

5, 6, 7 月 10 回 9. 10. 11 月 10 回 1, 2, 3 月 10 回 計年 30 回

本人の希望により日常会話、漢字の読み書き、N 検定 4, 3, 2 級の勉強等実施している 現在生徒数は 10 名、担当委員は 9 名 退職教師、日本語教師経験者、ACC ボランティア養成講座修了性等、一回に、生徒 10 名を委員 4 名担当 理想はマンツーマンレッスンだが、ボランティアなので委員が足りないのが課題である

山口 (にほん語かいわ会) (事前メール)

7 月 6 日 (土) に伊豆市にみえる台湾からの訪問団の見学同行があり定例会に参加出来なくなりました。

直近のにほん語かいわ会 (大仁) の活動報告です。

・ 2~12 人の外国人と 4~7 人のボランティアで毎週木曜日 19:30-21:00 で行っております。最近の傾向は技能実習、特定技能は少なく、技人国、エンジニア、配偶者と様々です。

会話中心、N5 (初級から)、N4 (復習、来年受験)、N3 (復習)、N2 (総合. 試験対策)、N1 (読解. 試験対策) とグレード別に対応中です。

・ にほん語かいわ会の昼の部として修善寺温泉の旅館従業員の配偶者の学習支援を 6 月から修善寺温泉場の居場所活動内で毎週木曜日 15:00-16:30 で開始しております。

日本語が話せれば就労が出来るとのことです。

・ 6 月にはボランティアさんの農園で梅、枇杷狩りをし、シロップ作りのレクチャーとランチ会をしました。(シロップ材料: イオンイエローレシート寄付金)

・ 7 月伊豆学研究会の認知症カフェ事業の中にインド人学習者のビリヤニ、マサラチーのランチを企画し、今後も月 2 回位で各国料理を取り入れて頂く予定です。(シェフは有償ボランティア)

・ 中国人の配偶者のインド人の就活支援

・ 会場が取ればですが、11 月末位に、スルガ銀行企業経営研究所から頂いた国際功労の賞金を元にスピーチコンテストをと企画中です。

・ 韮山、三島の活動参加をボランティア、学習者に促している。

・ 5 月に県社協の地域ボランティア活動助成の申請をしました。

引き続き、教室活動と例年通りの季節行事と茶話会、イベントで活動継続して参ります。

余談ですが、4 月に一時帰国の学習者の提案でボランティア 3 名でベトナム中部の訪問をしてきました、現地で日本語で母国を案内する姿は立派でした。

以上